

活動状況アンケート結果

団体推薦委員

	1地域の特性	2「1」を踏まえて実施している現在の取組や検討中の取組	3「2」を実施するにあたり、他の団体等との連携が必要な取組	4市に要望したいこと
神楽岡東地区市民委員会	・活力ある地域活動の推進 ・誰もが笑顔で挨拶し合える地域社会づくり	新型コロナウイルス感染防止を徹底した上で、コミュニティ活動を多くの施策で実施し、軽スポーツ等も活用しながら、引きこもりの生活を改善する。	フロアカーリング、ポッチャ等の用具を購入し、いつでも誰でも安全に取り組める環境を作り、旭川市スポーツ推進委員会等に協力を求める。	・前例の踏襲ではなく、柔軟な対応を望む。 ・会館維持の経済的な支援
旭神市民委員会	・比較的新しく作られた住宅地 安心・安全な地域	・交流行事の実施(盆踊り、敬老の集い、餅つきなど) ・地域の安全点検		旭神地区の公園内の定期的な除草
緑が丘地区民生委員児童委員協議会	少子高齢化が進んでいる地域	新たに入居してきた若い世代夫婦とその子どもたちによる「ローソク出せ」活動とその支援。徐々に受け入れ家族も増加している。		
神楽・西神楽地域包括支援センター	・教育機関が充実 ・医療機関が充実 ・高齢化率の増加	・高齢者の生活・介護等に関する総合相談 ・介護予防を目的とした運動サークルの立ち上げ支援 ・ボランティア養成講座	・周知活動 ・場所、ボランティア等の人材確保 ・ニーズの把握(高齢者が安心して暮らすために)	
緑が丘地区社会福祉協議会	「神楽岡ニュータウン」として、緑豊かな文教地区を形成してきたが、近年人口減や高齢化、町内会解散など地域の活力低下が懸念される。	・高齢者ふれあいサロンの開催 ・安心見守り事業の実施 ・敬老祝賀会開催、記念品配付 ・除雪支援事業の実施 ・共同募金、大口募金活動の実施	・市民委員会との連携(敬老会の共催、災害義援金の共同取組等) ・民生児童委員連協との連携(安心見守り事業の情報共有、相談体制の構築等)	・市営住宅の建て替えに伴い、より利便性の高い集会所を設置することを希望する。
神楽岡東地区社会福祉協議会	健康への不安を抱えている高齢者が多い。	「困ったときに頼る人がいない」ことから生活不安を感じないよう声かけや見守り実施	独居老人などの見守りにおいて、地区社協や町内会役員、民生委員、地域包括支援センターなどで情報を共有し、住民全体で見守る体制をつくる。	

公募委員

1まち協で取り組むべき課題	2市に要望したいこと	その他
・地域愛の醸成 地域の魅力を知り、親しみを持つことができるような事業。 例)地域ふれあい事業 フリーマーケット、バザー、模擬店の開催等	地域の絆を育てる場づくり	地域の目指すべき姿や地域の課題を抽出し、その解決方法や道筋をそこに住む住民自ら考えて、取り組むことができるようなまちづくりを目指す。
グリーンパルを利用した多世代交流の場の活性化	・旭川医科大学生と地域の小中高の生徒との交流の場づくり ・学生目線で住みよい地域づくり	医大看護学科とまち協のつながりをより強くしていきたい。 昨年、医大看護学科では「地域包括ケア論」の科目の一環としてボランティア等で地域の方々と関わる機会があったが、学生はあくまで参加者としての参加がメインだったので、今後運営にも携わる機会ができれば良いと考える。